

注意事項

- 1 試験開始時刻 9時30分
- 2 試験科目数別終了時刻

科目数	1科目	2科目	3科目
終了時刻	10時10分	10時50分	11時30分

- 3 試験科目別の問題数(解答数)及び試験問題ページ

科目	問題数(解答数)					試験問題ページ
	第1問	第2問	第3問	第4問	第5問	
電気通信技術の基礎	4	5	4	4	4	R - 1 ~ 5
端末設備の接続のための技術	5	5	5	5		R - 6 ~ 10
端末設備の接続に関する法規	5	5	5	5		R - 11 ~ 14

- 4 受験番号等の記入とマークの仕方

- (1) マークシート(解答用紙)にあなたの受験番号、生年月日及び氏名をそれぞれ該当枠に記入してください。
- (2) 受験番号及び生年月日に該当する箇所を、それぞれマークしてください。
- (3) 生年月日の欄は、年号をマークし、生年月日に1けたの数字がある場合、十の位のけたの「0」もマークしてください。

[記入例] 受験番号 01R9211234

生年月日 昭和50年3月1日

受験番号									
0	1	R	9	2	1	1	2	3	4
●	○	P	○	○	○	○	○	○	○
1	●	○	1	1	●	●	1	1	1
2	●	2	●	2	2	●	2	2	2
3	○	3	○	3	3	3	●	3	3
4	○	T	4	4	4	4	4	●	4
5	○	U	5	5	5	5	5	5	5
6	○	6	6	6	6	6	6	6	6
7	○	W	7	7	7	7	7	7	7
8	○	8	8	8	8	8	8	8	8
9	●	9	9	9	9	9	9	9	9

生年月日										
年号	5	0	0	3	0	1	○	○	○	○
平成	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
昭和	○	1	1	1	1	1	○	○	○	○
○	2	2	2	2	2	2	○	○	○	○
●	3	3	3	○	3	3	○	○	○	○
○	4	4	4	4	4	4	○	○	○	○
○	5	5	5	5	5	5	○	○	○	○
○	6	6	6	6	6	6	○	○	○	○
○	7	7	7	7	7	7	○	○	○	○
○	8	8	8	8	8	8	○	○	○	○
○	9	9	9	9	9	9	○	○	○	○

- 5 答案作成上の注意

- (1) 解答は、別に配付するマークシート(解答用紙)の該当欄の正解として選んだ番号マーク枠を、黒の鉛筆(HB又はB)で濃く塗りつぶしてください。  
ボールペン、万年筆などでマークした場合は、採点されませんので、使用しないでください。  
一つの問いに対する解答は一つだけです。二つ以上マークした場合、その問いについては採点されません。  
マークを訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してください。
- (2) 免除の科目がある場合は、その科目欄は記入しないでください。
- (3) この問題用紙に記入しても採点されません。

- 6 合格点及び問題に対する配点

- (1) 各科目の満点は100点で、合格点は60点以上です。
- (2) 各問題の配点は、設問文の末尾に記載してあります。

マークシート(解答用紙)は、絶対に折り曲げたり、汚したりしないでください。

次ページ以降は試験問題です。試験開始の合図があるまで、開かないでください。

受験番号 (控え)									
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(今後の問い合わせなどに必要になります。)

# 電気通信技術の基礎

第1問 次の各文章の      内に、それぞれの      の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計 20 点)

(1) 図 - 1 に示す回路において、端子 a - b 間の合成抵抗は、 (ア) オームである。(5 点)

- 1 8      2 3      2 8      3 3      3 8

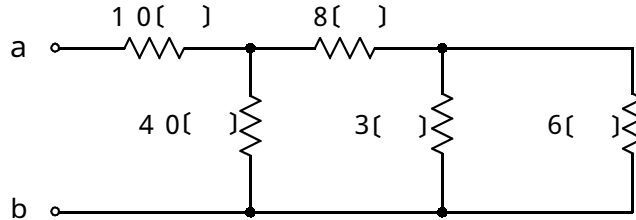


図 - 1

(2) 図 - 2 に示す回路において、端子 a - b 間に交流電圧 70 ボルトを加えたとき、この回路に流れる電流は、 (イ) アンペアである。(5 点)

- 3      4      5      6      7

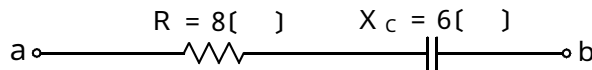


図 - 2

(3) 平行に置かれた 2 本の導体に同じ方向の電流を流した場合、フレミングの法則に従い 2 本の導体には、 (ウ) 力が働く。(5 点)

- 引き合う  
 電流を流し始めた瞬間のみ反発し合う  
 電流を流し始めた瞬間のみ引き合う  
 反発し合う  
 2 本の導体間の中心となる線の周りに回転する

(4) コンデンサに蓄えられる電気量とそのコンデンサの端子間の (エ) との比は、静電容量といわれる。(5 点)

- 電 界      静電力      電 圧      絶縁耐力      電 荷

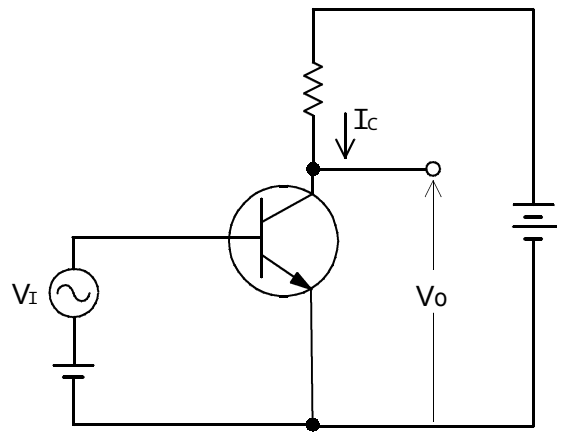
第2問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

- (1) 真性半導体にアクセプタといわれる不純物元素を微量混入して作られるP形半導体では、多数キャリアは、  (ア) である。 (4点)

電子      正孔      空乏層      イオン

- (2) 図に示すトランジスタ増幅回路で、正弦波の入力信号電圧  $V_i$  に対する出力電圧  $V_o$  は、この動作点を中心に变化し、コレクタ電流  $I_c$  が  (イ) のとき、 $V_o$  が最小となる。 (4点)

ゼロ      最大      最小



- (3) ダイオードが主体となっている回路として、  (ウ) がある。 (4点)

発信器      増幅器      電源整流器      ホイットストンブリッジ

- (4) あるトランジスタ増幅回路において、0.2ボルトの入力電圧を加えたとき、20ボルトの出力電圧が得られた。この増幅回路の電圧利得は、  (エ) デシベルである。 (4点)

4      20      40      100      400

- (5) MOS形電界効果トランジスタは、多数キャリアのみで動作するもので、  (オ) 形トランジスタの一種である。 (4点)

ユニポーラ      バイポーラ      バイナリー

第3問 次の各文章の   内に、それぞれの   の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

(1) 10進数の111を8進数に変換すると、 (ア)  になる。 (5点)

- 101      113      145      157      173

(2) 次の論理関数Xは、ブール代数の公式等を利用して変形し、簡単にすると、 (イ)  になる。 (5点)

$$X = A \cdot (A + \overline{B})$$

- A      B       $A \cdot \overline{B}$        $A + B$        $A + \overline{B}$

(3) 図-1の論理回路において、Mの論理素子が (ウ)  であるとき、入力a及び入力bの論理レベルと出力cの論理レベルとの関係は、右の真理値表で示される。 (5点)

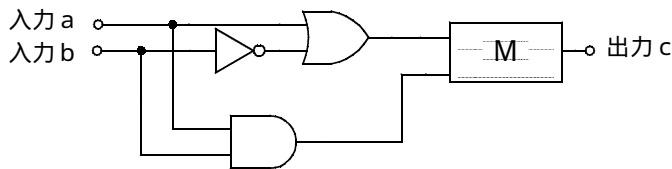
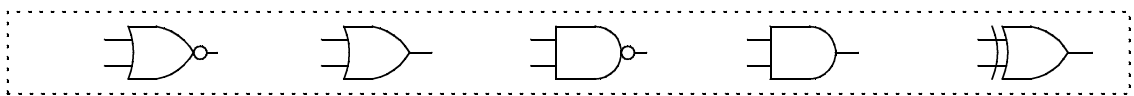


図-1

入 力		出 力
a	b	c
0	0	1
0	1	0
1	0	1
1	1	1

(4) 図-2に示すベン図において、A、B及びCは、それぞれの円の内部を表すとき、塗りつぶした部分を示す論理式は、 (エ)  で表すことができる。 (5点)

- $A \cdot B$        $B \cdot C$        $C \cdot A$        $A \cdot B \cdot C$        $\overline{A} \cdot B \cdot C$

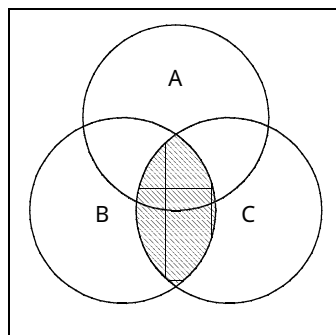


図-2

第4問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

- (1) 図-1において、電気通信回線への入力レベルが -5 デシベル、その伝送損失が1キロメートル当たり  (ア) デシベル、増幅器の利得が30 デシベルのとき、端子 a - b での受信レベルは、-3 デシベルである。ただし、入出力各部のインピーダンスは整合しているものとする。 (5点)

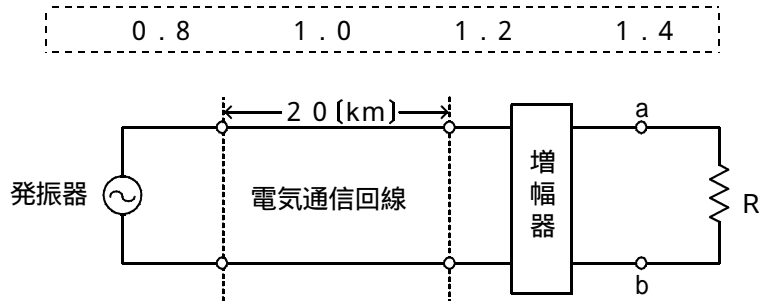


図 - 1

- (2) 平衡対ケーブルの漏話について述べた次の二つの記述は、 (イ) 。 (5点)
- A 平衡対ケーブルで生ずる漏話は、一般に、伝送する信号の周波数が高くなると大きくなる。  
 B 平衡対ケーブルにおける漏話は、主に回線相互の電磁結合により発生し、回線を構成する心線間の静電結合により影響を受けることはない。

Aのみ正しい
Bのみ正しい
AもBも正しい
AもBも正しくない

- (3) 図-2において、電気通信回線のインピーダンスを  $Z_1$ 、負荷インピーダンスを  $Z_2$ 、変成器の一次側、二次側の巻線数をそれぞれ  $N_1$ 、 $N_2$  とすると、 $\frac{Z_1}{Z_2} =$   (ウ) のときにインピーダンスが整合する。ただし、変成器は理想的なものとする。 (5点)

$N_1 \times N_2$ 
 $\frac{N_2}{N_1}$ 
 $\left(\frac{N_2}{N_1}\right)^2$ 
 $\left(\frac{N_1}{N_2}\right)^2$

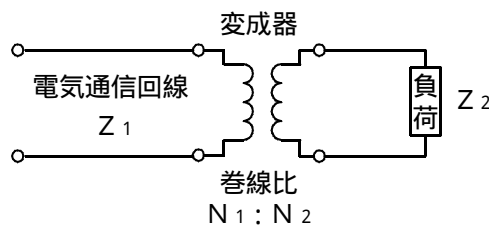


図 - 2

- (4) 線路のインピーダンスに関する次の二つの記述は、 (エ) 。 (5点)
- A 一様な線路が無限の長さが続いているとき、入力インピーダンスは、その線路の特性インピーダンスの2倍である。  
 B 一様な線路が無限の長さが続いているとき、線路途中の任意の一点におけるインピーダンスは、その線路の特性インピーダンスの  $\frac{1}{2}$  である。

Aのみ正しい
Bのみ正しい
AもBも正しい
AもBも正しくない

第5問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計20点)

- (1) 伝送するアナログ信号波形を一定の時間間隔でサンプリングし、抽出したパルスの振幅を符号化する変調方式は、 (ア) 方式といわれる。(5点)

A M      P W M      P C M      F D M      T D M

- (2) 電気通信回線において、送話者の通話電流が受信端で反射し、時間的に遅れて送信端に戻り、通話に妨害を与える現象は、 (イ) といわれる。(5点)

干 渉      共 振      鳴 音      反 響

- (3) 伝搬路の状態により電波の受信  (ウ) が時間的に変動する現象は、フェージングといわれる。(5点)

雑音電圧      電界強度      帯域幅      周波数

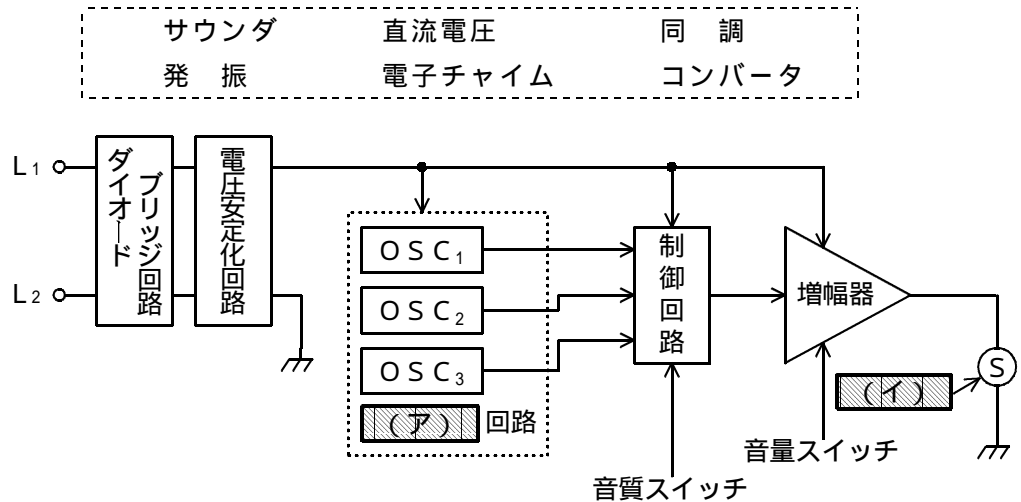
- (4) 光ファイバは、メタリックケーブル心線と比較すると、 (エ) という特性を有している。(5点)

<input type="text"/> 無損失、広帯域、細径	<input type="text"/> 高損失、狭帯域、無誘導
<input type="text"/> 低損失、狭帯域、無誘導	<input type="text"/> 低損失、広帯域、無誘導
<input type="text"/> 低損失、広帯域、高強度	<input type="text"/> 無損失、広帯域、無誘導

端末設備の接続のための技術

第1問 次の各文章の          内に、それぞれの                      の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計 25点)

- (1) 図に示す電子化電話機のトーンリング回路では、交換機から送出される呼出信号をダイオードブリッジ回路で全波整流し、直流に変換後、これを電源として (ア) 回路を動作させ、それらの出力を制御回路により組み合わせて3種類の音色の信号を作成する。これらを増幅器で増幅して (イ) を鳴動させることにより着信を知らせる。 (5点×2 = 10点)



- (2) 着信時、電話機から応答すると呼出音が停止し、一般に、交換機は発信側に対して (ウ) により応答したことを伝える。 (5点)

両線間の極性反転	両線間の直流閉回路
片線へ地気送出	通話電流の瞬断

- (3) 通話品質は、送話者から受話者に至る全通話系の品質に支配され、一般に、送話品質、受話品質及び (エ) の三つに分類される。 (5点)

安定品質	信頼度	伝送方式	伝送品質	トラヒック密度
------	-----	------	------	---------

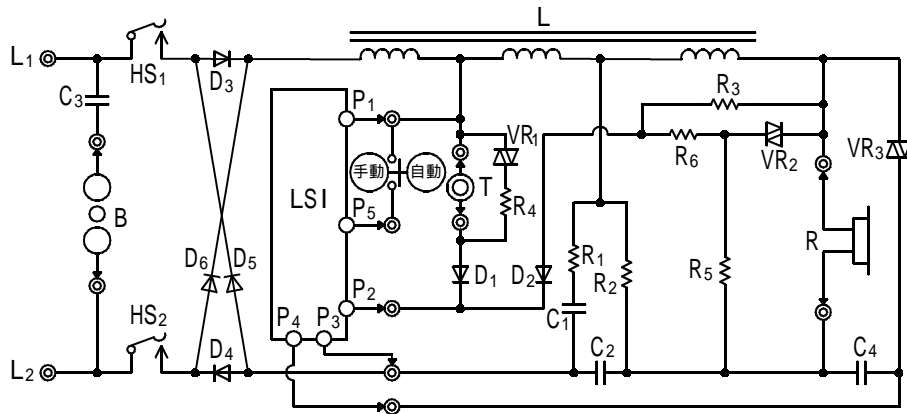
- (4) 小電力形コードレス電話機で終話により送受器をオンフックすると、電話機から通話チャンネルを介して接続装置に対して電気通信回線の (オ) を指示する信号が送出され、接続装置は直流回路を開く。 (5点)

切断	保留	接続	選択信号送出	転送
----	----	----	--------	----

第2問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計25点)

- (1) 図は、押しボタンダイヤル式電話機の回路を示したものである。発信するため、送受器を上げると、フックスイッチ接点が動作し、相手電話機の電話番号をダイヤルすると、L<sub>1</sub> -  (ア) - L<sub>2</sub>の回路により押しボタンダイヤル信号が送出される。 (5点)

- HS<sub>1</sub> - D<sub>3</sub> - L - R - C<sub>2</sub> - D<sub>4</sub> - HS<sub>2</sub>  
 HS<sub>1</sub> - D<sub>3</sub> - L - P<sub>1</sub> - (LSI) - P<sub>3</sub> - D<sub>4</sub> - HS<sub>2</sub>  
 HS<sub>1</sub> - D<sub>3</sub> - L - T - D<sub>1</sub> - P<sub>2</sub> - (LSI) - P<sub>3</sub> - D<sub>4</sub> - HS<sub>2</sub>  
 HS<sub>1</sub> - D<sub>3</sub> - L - R<sub>1</sub> - C<sub>1</sub> - D<sub>4</sub> - HS<sub>2</sub>  
 HS<sub>1</sub> - D<sub>3</sub> - L - R<sub>2</sub> - C<sub>2</sub> - D<sub>4</sub> - HS<sub>2</sub>



- (2) 留守番電話機において、トールセーバは、留守中の録音の有無によって  (イ) を自動的に切り替える機能である。 (5点)

- 着信音量       自動応答までの呼出音回数       着信音色       転送先

- (3) 留守番電話機の機能について述べた次の二つの記述は、  (ウ) 。 (5点)

- A 留守番電話機には、メッセージの録音時間を長くする方法として、ADPCMやCELPなどの高能率符号化方式を用いたものがある。  
 B 留守番電話機には、外出先からPB信号で暗証番号やコマンドを送出し、留守中に着信した録音の内容を聞くことができるなど、各種の遠隔操作ができるものがある。

- Aのみ正しい       Bのみ正しい       AもBも正しい       AもBも正しくない

- (4) 小電力形コードレス電話機では、無線周波数の効率的な運用ができるとともに、電波干渉を防止するため、通話を行うごとに、使用できる複数の無線チャンネルのうち、一つのチャンネルを選択して接続する  (エ) を採用している。 (5点)

- パケット交換方式       セラ方式       ハンドオーバ方式  
 CDMA方式       マルチチャンネルアクセス方式



- (5) Lモード対応電話機は、メールの送受信と情報の検索という二つのサービスの機能を持っている。情報の検索サービスでは、利用者が画面に表示された各種項目を選択することによって、**(オ)** で記述されたコンテンツを閲覧することができる。(5点)

HTML      JAVA      BASIC      URL      Web

第3問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) 図-1に示す同期式変復調装置において、**(ア)** は、電気通信回線の伝送損失に合わせて、送出電力を調整するためのものである。(5点)

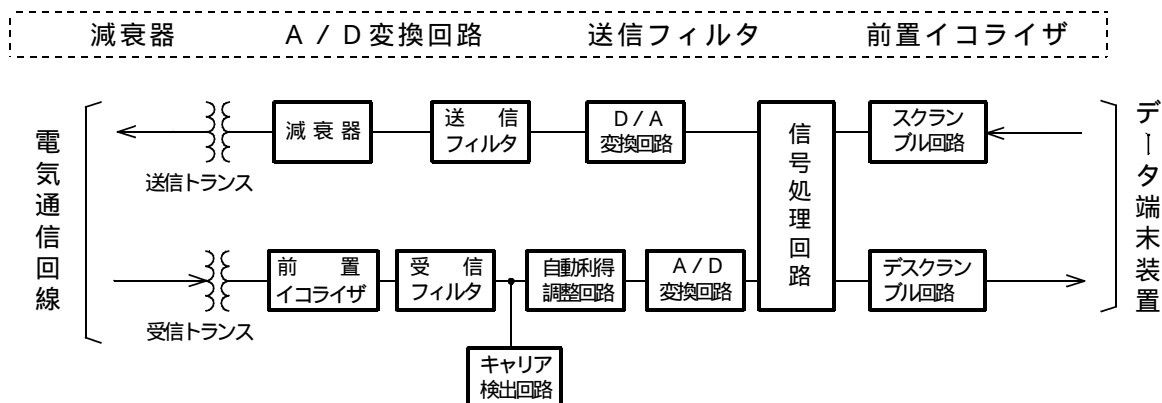


図 - 1

- (2) **(イ)** 通信は、情報の伝送が両方向とも可能であるが、同時に両方向の伝送はできない通信方式をいい、会話形式の通信を行うときに有効である。(5点)

単方向      半二重      全二重

- (3) 電気通信回線に、データ端末装置(DTE)、網制御装置(NCU)及び変復調装置(モデム)を接続する場合の接続形態は、通常、図-2の**(ウ)**である。(5点)

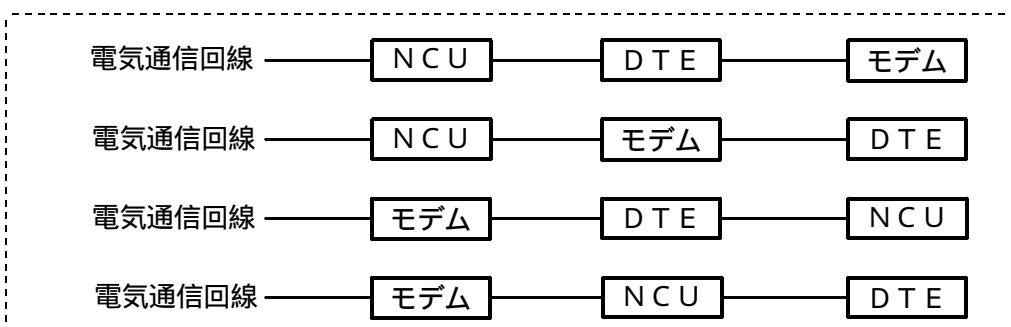


図 - 2

- (4) シリアル自動起呼手順を規定しているITU-T勧告V.25bisでは、データ端末装置から変復調装置の方向に送られる指示は、**(エ)**といわれる。(5点)

パラメータ      オペランド      コマンド      ハンドシェイク

(5) 図 - 3 は、ファクシミリ機の動作原理を示したものである。図中の A から E までの動作の過程は、 である。 (5 点)

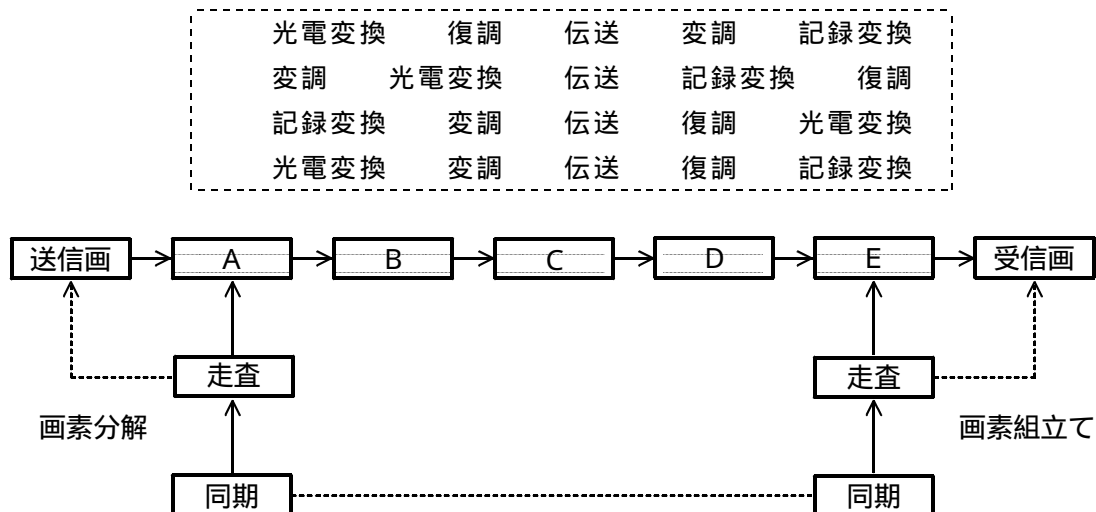
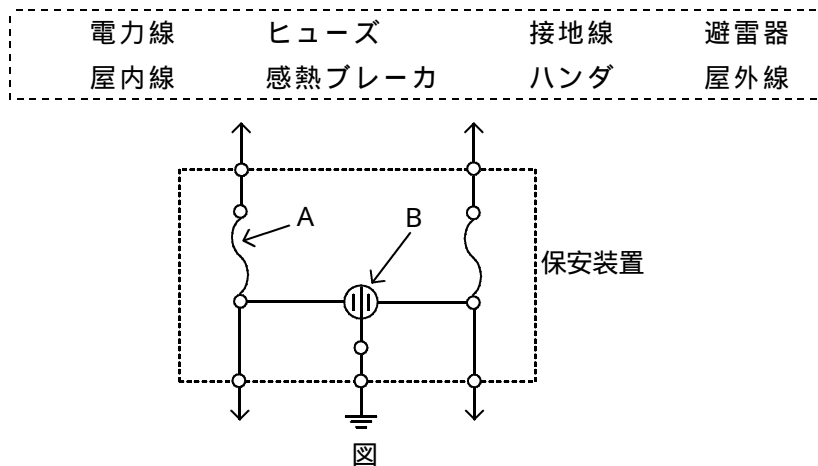


図 - 3

第 4 問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計 25 点)

(1) 図は、最寄りの電柱等から電気通信回線を家屋に引き込む場合に一般的に使用する保安装置の構成と接続形態を示したものである。図の A は、、B は、 である。 (5 点 × 2 = 10 点)



(2) 室内のケーブル配線について述べた次の二つの記述は、**(ウ)**。(5点)

A コンピュータ室、通信機械室、事務室などで、通信線などの配線のため用いられる二重床構造は、フリーアクセスフロアといわれる。

B フロアダクト配線工事において、フロアダクトが交差するところには、通常、ジャンクションボックスが設置される。

Aのみ正しい      Bのみ正しい      AもBも正しい      AもBも正しくない

(3) アナログ式のテスタを用いて電圧を測定するときは、一般に、最初に最大のレンジにしておいたテスタを被測定回路に対して **(エ)** 接続し、順次小さいレンジへ切り替えて測定を行う。(5点)

並列に      3点で      直列に      コイルを通し

(4) 電話回線に接続されたスプリッタ及びADSLモデムがあるとき、これに一般電話機(IP電話を除く。)を接続する方法は、図-1～図-4に示す原理図のうち、**(オ)**が正しい。(5点)

図-1      図-2      図-3      図-4

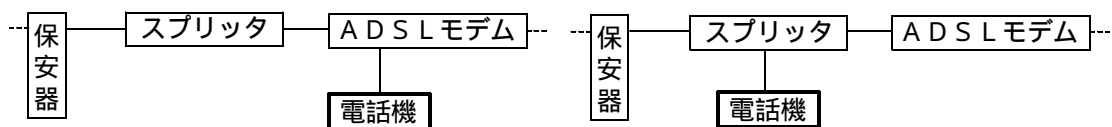


図-1

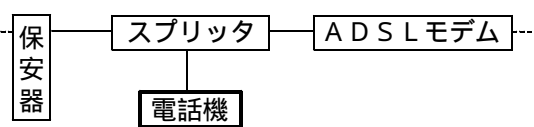


図-2

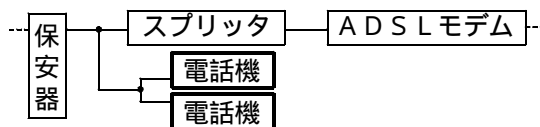


図-3

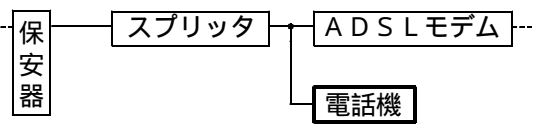


図-4

**端末設備の接続に関する法規**

第1問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から、「電気通信事業法」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計25点)

(1) 電気通信役務とは、 (ア) 他人の通信を媒介し、その他電気通信設備を他人の通信の用に供することをいう。 (5点)

符号、音響又は影像により                      公共の福祉を増進するため  
有線又は無線により                              電気通信設備を用いて

(2) 電気通信回線設備とは、 (イ) 及びこれと一体として設置される  (ウ) 並びにこれらの附属設備をいう。 (5点×2=10点)

線路、保安器その他の設備  
有線、無線その他の電磁的方式を用いた設備  
送信の場所と受信の場所との間を接続する伝送路設備  
端末設備                      機械設備                      送受信設備                      交換設備

(3) 端末設備の接続の技術基準は、これにより電気通信事業法に規定する三つの事項が確保されるものとして定められなければならないが、これらの事項のうち、二つについて述べた次の記述は、 (エ) 。 (5点)

- A 第一種電気通信事業者の設置する電気通信回線設備と利用者の接続する端末設備との責任の分界が明確であるようにすること。
- B 通信の品質が適正であるようにすること。

Aのみ正しい                      Bのみ正しい                      AもBも正しい                      AもBも正しくない

(4) 次の二つの記述は、 (オ) 。 (5点)

- A 工事担任者は、端末設備又は自営電気通信設備の接続の工事の実施又は監督の職務を誠実に行わなければならない。
- B 工事担任者資格者証の種類及び工事担任者が行い、又は監督することができる端末設備若しくは自営電気通信設備の接続に係る工事の範囲は、総務省令で定める。

Aのみ正しい                      Bのみ正しい                      AもBも正しい                      AもBも正しくない

第2問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から、「工事担任者規則」及び「有線電気通信法」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。

(小計25点)

(1) 次の二つの記述は、 (ア) 。(5点)

A 専用設備に端末設備を接続するときは、工事担任者を要する。

B 航空機に設置する端末設備(総務大臣が別に告示するものに限る。)を電気通信回線設備に接続するときは、工事担任者を要しない。

Aのみ正しい  Bのみ正しい  AもBも正しい  AもBも正しくない

(2) 次の二つの記述は、 (イ) 。(5点)

A アナログ第3種工事担任者は、端末設備に収容される電気通信回線の数が増えるものをアナログ伝送路設備に接続するための工事を行い、又は監督することができる。

B アナログ第3種工事担任者は、自営電気通信設備に収容される電気通信回線の数が増えるものをアナログ伝送路設備に接続するための工事を行うこと、又は監督することができない。

Aのみ正しい  Bのみ正しい  AもBも正しい  AもBも正しくない

(3) 工事担任者が、その資格者証の再交付を受けられる場合に関する次の二つの記述は、 (ウ) 。(5点)

A 資格者証を失った場合

B 工事担任者の氏名に変更を生じた場合

Aのみ正しい  Bのみ正しい  AもBも正しい  AもBも正しくない

(4) 有線電気通信設備が他人の  (エ)  する有線電気通信設備に  (オ)  を与えないようにすることは、政令で定める有線電気通信設備の技術基準で確保すべき事項である。

(5点×2=10点)

使用  維持  設置  管理  
 危険  影響  損失  妨害

第3問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から、「端末設備等規則」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

(1) 次の二つの記述は、 (ア)。(5点)

A 電話用設備とは、電気通信事業の用に供する電気通信回線設備であって、主として符号及び影像の伝送交換を目的とする電気通信役務の用に供するものをいう。

B アナログ電話用設備とは、電話用設備であって、端末設備又は自営電気通信設備を接続する点においてアナログ信号を入出力とするものをいう。

Aのみ正しい  Bのみ正しい  AもBも正しい  AもBも正しくない

(2) 責任の分界と安全性等について述べた次の二つの記述は、 (イ)。(5点)

A 利用者の接続する端末設備は、自営電気通信設備との責任の分界を明確にするため、自営電気通信設備との間に分界点を有しなければならない。

B 端末設備は、事業用電気通信設備から漏えいする通信の内容を意図的に識別する機能を有してはならない。

Aのみ正しい  Bのみ正しい  AもBも正しい  AもBも正しくない

(3) 絶対レベルとは、一の  (ウ) 電力の1ミリワットに対する比をデシベルで表したものをいう。(5点)

最大  実効  平均  皮相

(4) 端末設備の機器の絶縁抵抗は、使用電圧が300ボルトを超え600ボルト以下の交流の場合にあっては、 (エ) メガオーム以上でなければならない。(5点)

0.1  0.2  0.4  1

(5) 利用者が端末設備を事業用電気通信設備に接続する際に使用する配線設備等(線路及び保安器その他の機器をいう。)の電線相互間及び電線と大地の間の絶縁抵抗は、直流250ボルトの電圧で測定した値で  (オ) メガオーム以上でなければならない。(5点)

0.1  0.2  1  4

第4問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から、「端末設備等規則」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

(1) アナログ電話端末の直流回路は、 (ア)  もでなければならない。(5点)

- 発信又は応答を行うとき閉じ、通信が終了したとき開く
- 発信又は応答を行うとき開き、通信が終了したとき閉じる
- 発信を行うとき閉じ、応答を行うとき又は通信が終了したとき開く
- 発信を行うとき開き、応答を行うとき又は通信が終了したとき閉じる

(2) アナログ電話端末の発信の機能について述べた次の二つの記述は、 (イ) 。(5点)

- A 自動的に選択信号を送出する場合にあっては、直流回路を閉じてから3秒以上経過後に選択信号の送を開始するものでなければならない。ただし、電気通信回線からの発信音又はこれに相当する可聴音を確認した後に選択信号を送出する場合にあっては、この限りでない。
- B 自動再発信(応答のない相手に対し引き続いて繰り返し自動的に行う発信をいう。)を行う場合(自動再発信の回数が15回以内の場合を除く。)にあっては、その回数は最初の発信から3分に2回以内でなければならない。この場合において、最初の発信から3分を超えて行われる発信は、別の発信とみなす。ただし、火災、盗難その他の非常の場合を除く。

- Aのみ正しい
- Bのみ正しい
- AもBも正しい
- AもBも正しくない

(3) アナログ電話端末の選択信号が20パルス毎秒方式のダイヤルパルスの信号である場合、その信号のダイヤルパルスのメーク率は、 (ウ)  でなければならない。(5点)

- 28%以上30%以下
- 30%以上36%以下
- 36%以上42%以下

(4) アナログ電話端末の選択信号がダイヤルパルス信号である場合、その信号のダイヤルパルスメーク率とは、ダイヤルパルスの接(メーク)と断(ブレイク)の時間の割合をいい、 (エ)  の式で定義される。(5点)

- $\{\text{接時間} \div (\text{接時間} + \text{断時間})\} \times 100\%$
- $\{\text{断時間} \div (\text{接時間} + \text{断時間})\} \times 100\%$
- $\{(\text{接時間} + \text{断時間}) \div \text{接時間}\} \times 100\%$
- $(\text{断時間} \div \text{接時間}) \times 100\%$

(5) アナログ電話端末の直流回路の電気的条件について述べた次の二つの記述は、 (オ) 。(5点)

- A 直流回路を閉じているときのダイヤルパルスによる選択信号送付時における直流回路の静電容量は、3マイクロファラド以下でなければならない。
- B 直流回路を開いているときの直流回路と大地の間の絶縁抵抗は、直流200ボルト以上の1の電圧で測定した値で1メガオーム以上でなければならない。

- Aのみ正しい
- Bのみ正しい
- AもBも正しい
- AもBも正しくない